

学校支援  
だより

# もやい

第5号

人吉市二中  
校区地域教育協議会

## 郷土を学ぶ 人吉西小

### 校外学習シリーズ その3

### 学習支援

人吉西小（大平和明校長）3年生は、十月五日総合的な学習で、「おくんち祭り」の準備が進む青井阿蘇神社での体験学習をしました。学校から青井神社往復を学校支援ボランティアが支援し、体験活動の指揮と祭りの説明は、下戸越町の立石芳利さんが当たりましたが、その立石さんも学校支援ボランティアの一人です。子どもたちは、立石さんの活動の指揮とわかりやすい説明に嬉々として動き、祭りの話を聞きました。



わが町の国宝「青井阿蘇神社」で、まず土嚢運び。15kgほどの白砂の入った袋を、一人で運ぶ人、二人組みで運ぶ人。3年生には、大変な仕事です。



神幸式行列が通る階段は土嚢が敷き詰められ、その上の砂を小さな足で踏み固めます。

ちょうどこの日は、獅子を決める抽占式。子どもたちも式に参列しました。獅子に決まった人は早速衣装をつけ獅子に変身。これを見て子どもたちは大騒ぎ。中には泣き叫ぶ子もいました。



## ライバル“対決”

天下シニヤ×人二中

ソフトボールチーム



ライバルとの記念撮影

二中ソフト部に挑戦状を突きつけました。しかし、最初の対決は、人吉二中に軍配が上がったそうです。この試合をきっかけに交流が始まりました。目的は、「自分たちのチームが強くなること」でした。このシニアチームの皆さんにボランティアの登録をしてもらいました。皆ベテランぞろいですから、ゲームだけでなく大勢で個人指導すれば大きな支援になるという考えです。本年度は、九月十九日に練習試合をしました。両者真剣そのもの、監督の発破が飛び交う中で熱戦を展開しました。結果は二中が新チームを結成したばかりで、シニアの小技を混ぜた攻撃に中学生が苦戦しました。しかし、伸び盛りの中学生です。すぐにオールドパワーを追い越すでしょう。試合以上に世代間交流が大きいようです。「どっちもがんばれ」

### 支えられたり支えたり

平均年齢六十八歳のシニアソフトチームが人吉